

入学試験問題



地理歴史

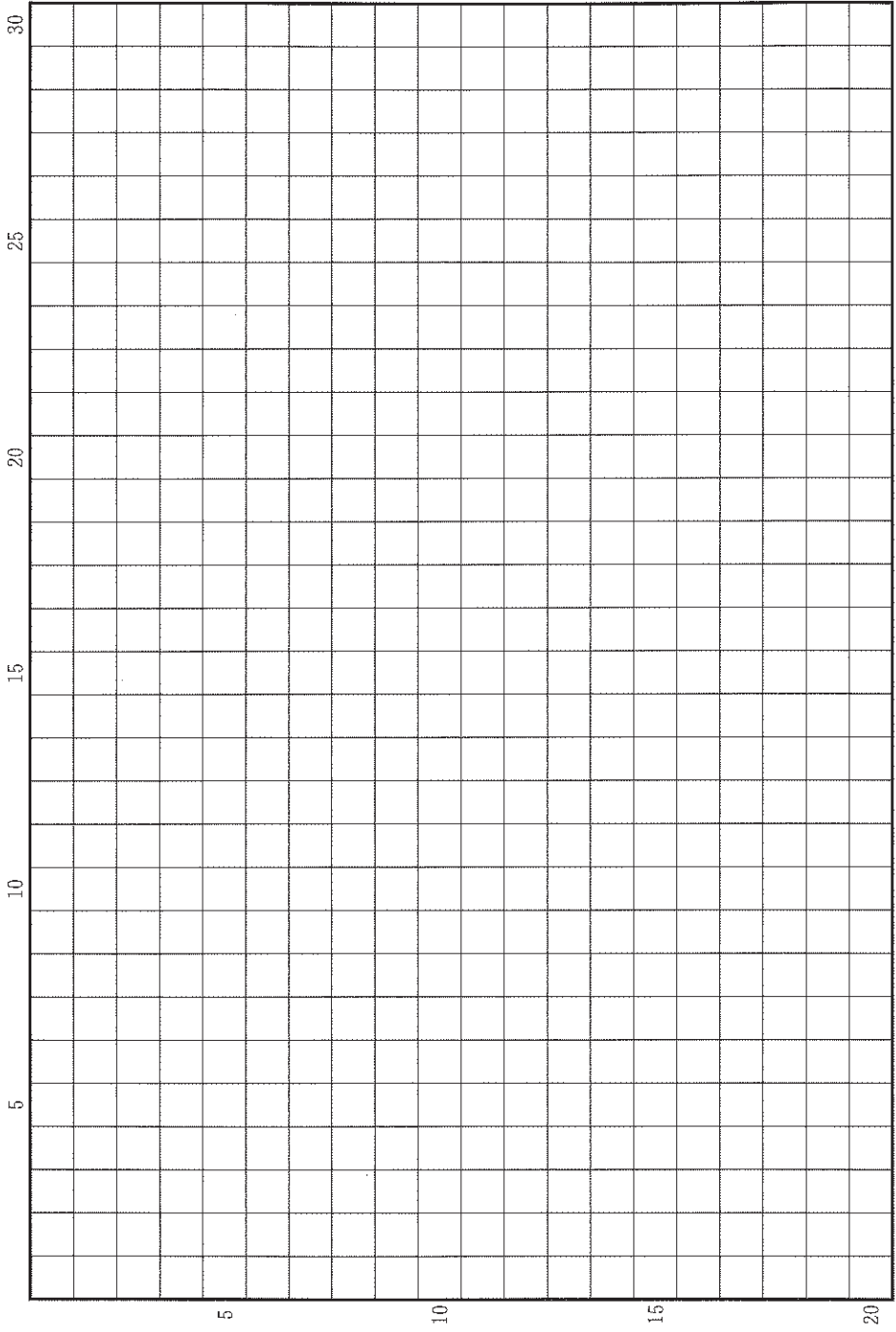
(配点 120 点)

令和 4 年 2 月 26 日 9 時 30 分—12 時

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 44 ページあります(本文は日本史 4 問 4～15 ページ, 世界史 3 問 16～25 ページ, 地理 3 問 26～44 ページ)。
落丁, 乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら, 手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 日本史, 世界史, 地理のうちから, あらかじめ届け出た 2 科目について解答しなさい。
- 4 解答には, 必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 5 解答は, 1 科目につき 1 枚の解答用紙を使用しなさい。
- 6 解答用紙の指定欄に, 受験番号(表面 2 箇所, 裏面 1 箇所), 科類, 氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 7 解答は, 必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 8 解答用紙表面上方の指定された()内に, その用紙で解答する科目名を記入しなさい。
- 9 解答用紙表面の上部にある切り取り欄のうち, その用紙で解答する科目の分のみ 1 箇所をミシン目に沿って正しく切り取りなさい。
- 10 解答用紙の解答欄に, 関係のない文字, 記号, 符号などを記入してはいけません。また, 解答用紙の欄外の余白には, 何も書いてはいけません。
- 11 この問題冊子の余白は, 草稿用にも使用してもよいが, どのページも切り離してはいけません。
- 12 解答用紙は, 持ち帰ってはいけません。
- 13 試験終了後, 問題冊子は持ち帰りなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



日 本 史

第 1 問

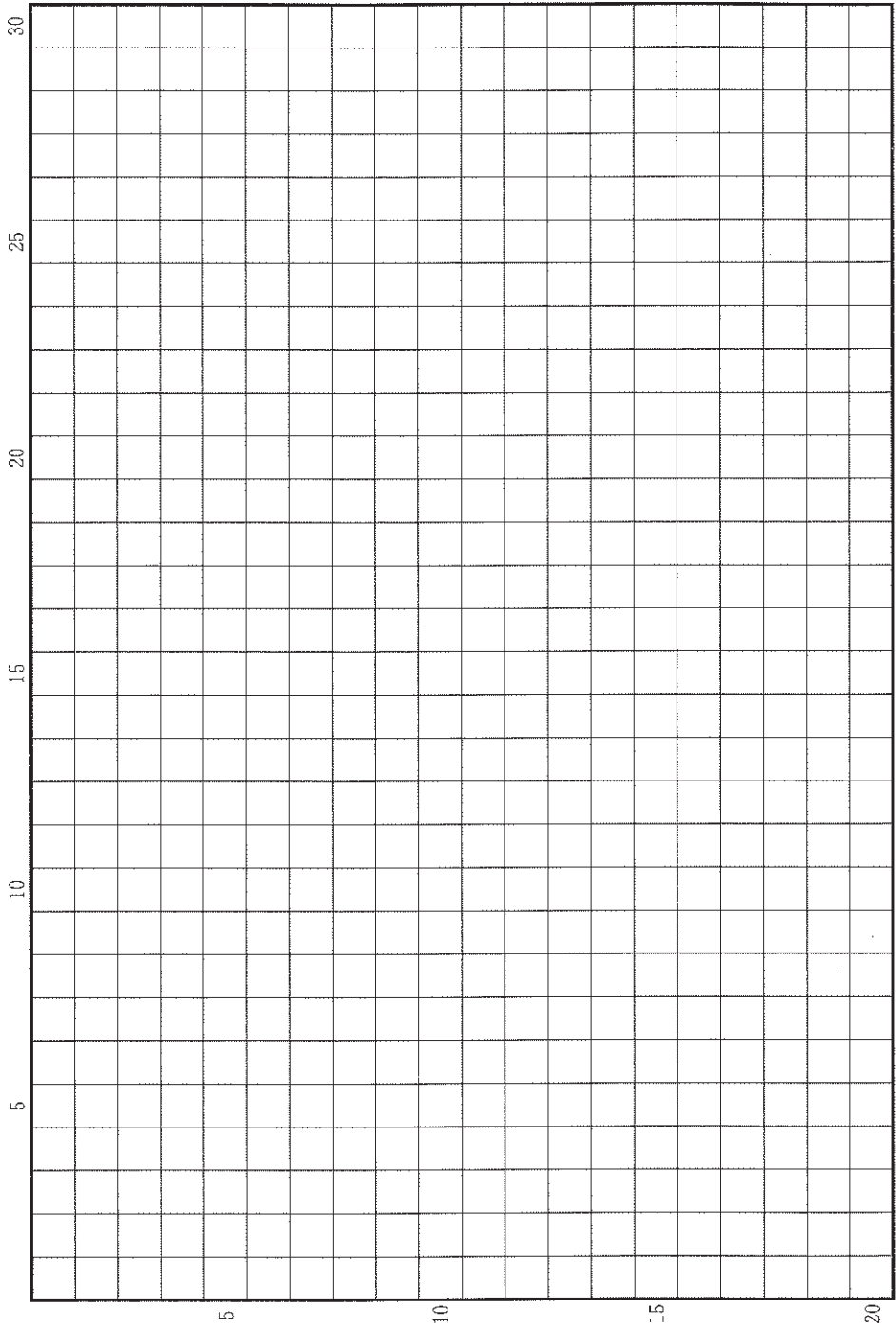
次の(1)~(4)の文章を読んで、下記の設問 A・B に答えよ。解答は、解答用紙(イ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

- (1) 律令制のもと、中央政府から諸国への連絡には文書が用いられた。その際、たとえば改元のように、全国一律に同じ内容を伝える場合には、各国宛てに1通ずつ作成されるのではなく、あわせて8通の文書が作成され、中央政府から畿内や七道の諸国に伝達された。受けとった国司はそれを写しとり、国内で施行したものとみられる。
- (2) 734年に出雲国が中央政府や他国との間でやりとりした文書の目録によれば、3月23日に中央政府が出雲国に宛てて発給した文書が、4月8日に伯耆国を通過し、4月10日に出雲国に到着したことが知られる。また出雲国を經由して、隠岐国や石見国に文書が伝達されることもあった。
- (3) 石川県で発掘された木札には、849年の郡司の命令が記されていた。そのなかで郡司は、国司からの命令を引用した上で、管轄下の役人に対し、その内容を道路沿いに掲示し、村人たちに諭し聞かせるようにと指示している。この木札には、一定期間、屋外に掲示されていた痕跡が残っている。
- (4) 奈良時代の村落における農耕祭祀の様子を伝える史料によれば、祭りの日には酒や食事が用意され、村の成人男女が集合すると「国家の法」が告知され、その後に宴会がおこなわれたという。

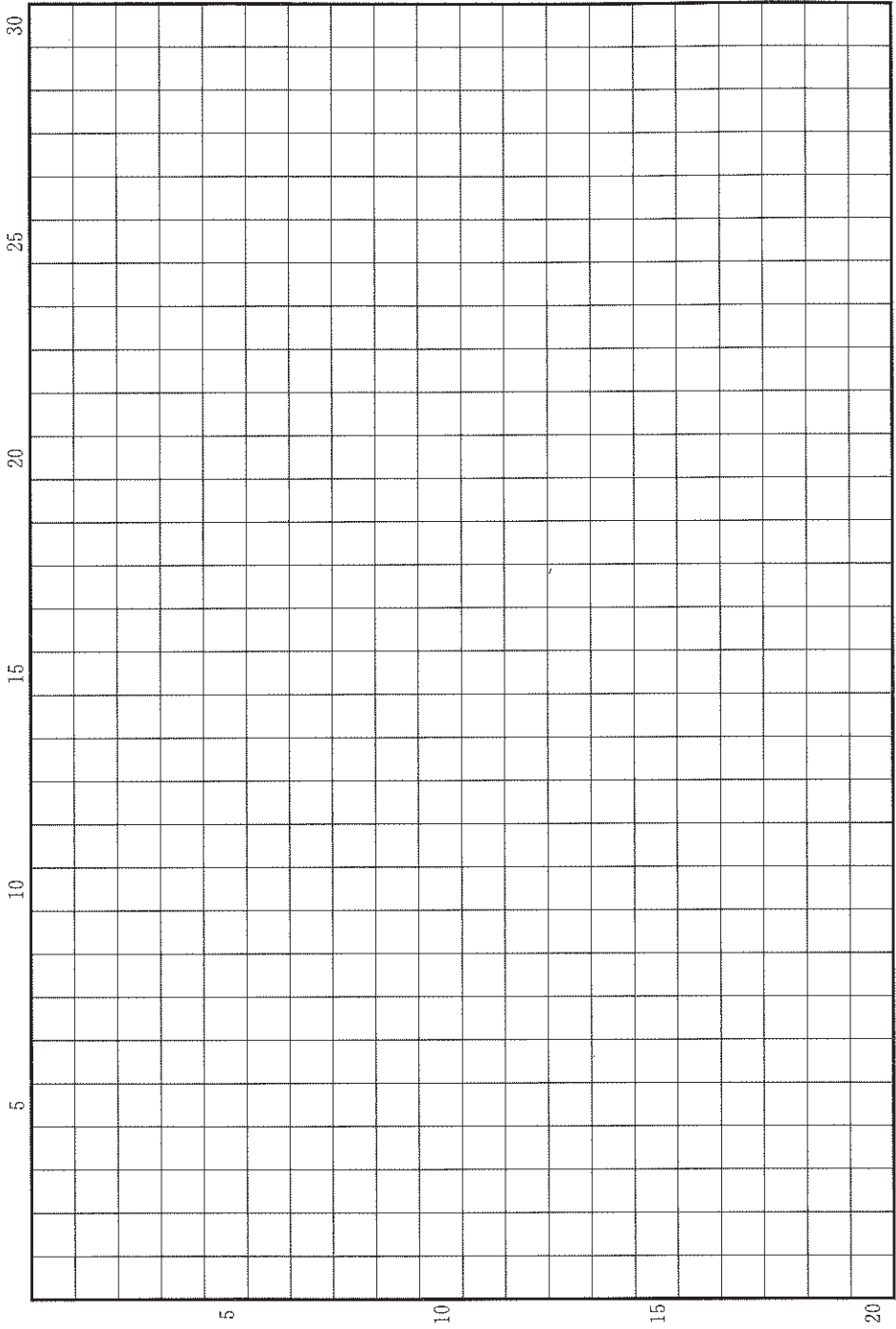
設 問

- A 中央政府から諸国に命令を伝えるときに、都から個別に使者を派遣する場合もあったが、そうではない場合はどのような方法がとられていたか。2行以内で述べよ。
- B 諸国では、どのようにして命令が民衆にまで周知されたと考えられるか。具体的な伝達方法に注意しつつ、4行以内で述べよ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

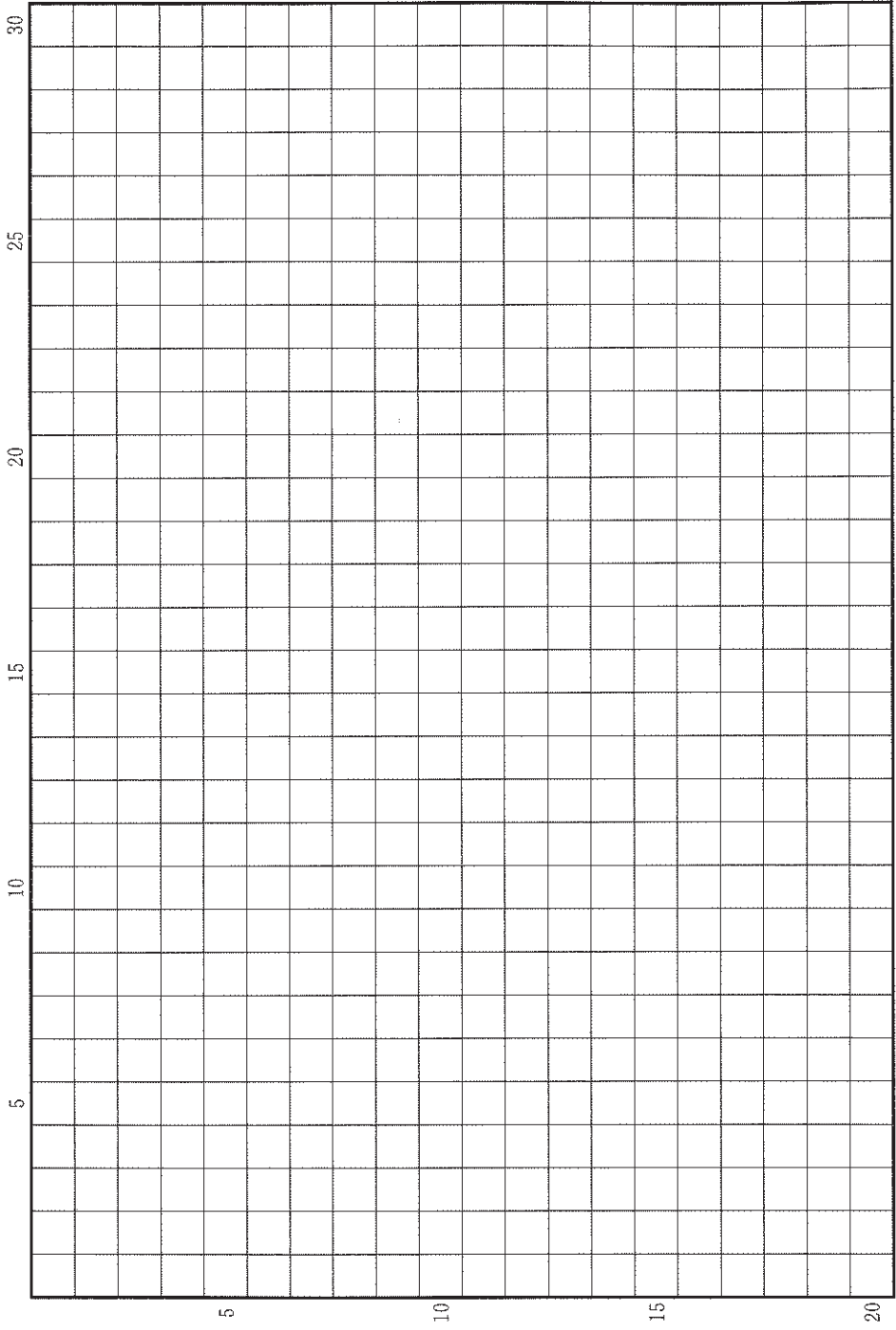
次の(1)～(5)の文章を読んで、下記の設問に答えよ。解答は、解答用紙(ロ)の欄に記入せよ。

- (1) 後嵯峨天皇の死後、皇統が分かれて両統迭立がおこなわれると、皇位経験者が増加し、1301年から1304年にかけては上皇が5人も存在した。上皇たちの生活は、持明院統では長講堂領、大覚寺統では八条院領という荘園群に支えられていた。
- (2) 室町幕府が出した半済令には、諸国の守護や武士による荘園公領への侵略がすすむなか、荘園領主の権益を半分は保全するという目的もあった。さらに1368年には、天皇や院、摂関家などの所領については全面的に半済を禁止した。
- (3) 内裏の造営や即位にともなう大嘗祭などの経費は、平安時代後期から各国内の荘園公領に一律に賦課する一国平均役によってまかなわれており、室町時代には幕府が段銭や棟別銭として守護に徴収させた。
- (4) 1464年、後花園天皇は譲位して院政を始めるにあたり、上皇のための所領を設定するよう足利義政に求めた。位を譲られた後土御門天皇は、2年後に幕府の経費負担で大嘗祭をおこなったが、これが室町時代最後の大嘗祭になった。
- (5) 1573年、織田信長から譲位を取りはからうとの意思を示された正親町天皇は、後土御門天皇から3代のあいだ望みながらも果たせなかった譲位を実現できることは朝廷の復興につながるとして大いに喜んだ。

設 問

(5)に述べる3代の天皇が譲位を果たせなかったのはなぜか。鎌倉時代以来の朝廷の経済基盤をめぐる状況の変化と、それに関する室町幕府の対応にふれながら、5行以内で述べよ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

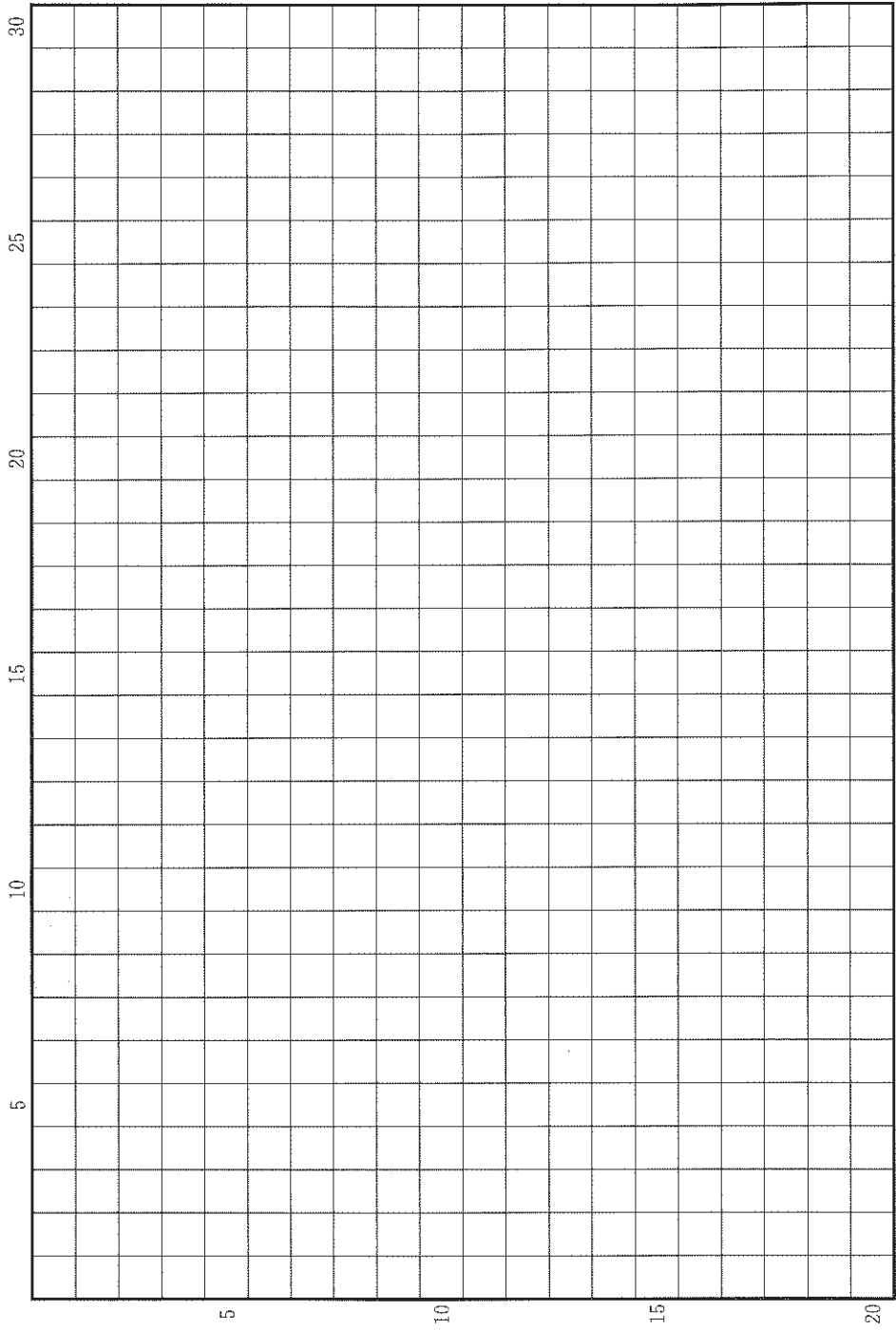
次の(1)~(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えよ。解答は、解答用紙(ハ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

- (1) 1588年、豊臣秀吉は諸国の百姓から刀・鉄砲など武具の類を没収し、百姓は農具さえ持って耕作に専念すれば子孫まで未長く繁栄すると述べた。
- (2) 1675年12月、ある大名の江戸藩邸の門外に、むしろに包んだものが置かれていた。役人が、江戸の事情に詳しい商人に聞くと「それはきっと死んだ乞食を捨てたのでしょう。江戸ではそういうことが時々あるので、捨てさせればよいでしょう」と言ったので、他所へ捨てさせた。
- (3) 1687年、江戸幕府は全国の村々で、条件をつけて鉄砲の所持や使用を認め、それ以外の鉄砲をすべて領主や代官に取りあげさせた。1689年、諸藩の役人を呼んで、作毛を荒らされるか、人間や家畜の命に関わるような場合には鉄砲を使ってよい、と補足説明した。
- (4) 1696年6月、(2)と同じ藩邸の堀に老女が落ちたのを番人が見つけて、すぐに引きあげた。医師に容体を診察させたところ無事だったので、着替えさせ食事を与え、幕府に報告した。幕府の役人の指示で、その者をできるだけ介抱し、翌日、藩邸の者17人で町奉行所へ出向いて引き渡した。

設 問

- A (3)で江戸幕府は、条件をつけて鉄砲の所持と使用を認めている。どのような用途を想定して鉄砲の所持や使用を認めたと考えられるか。(1)で没収された理由と対比して、3行以内で述べよ。
- B (2)(3)をふまえると、(4)のような手厚い対応をとるようになった背景として、どのようなことが考えられるか。2行以内で述べよ。

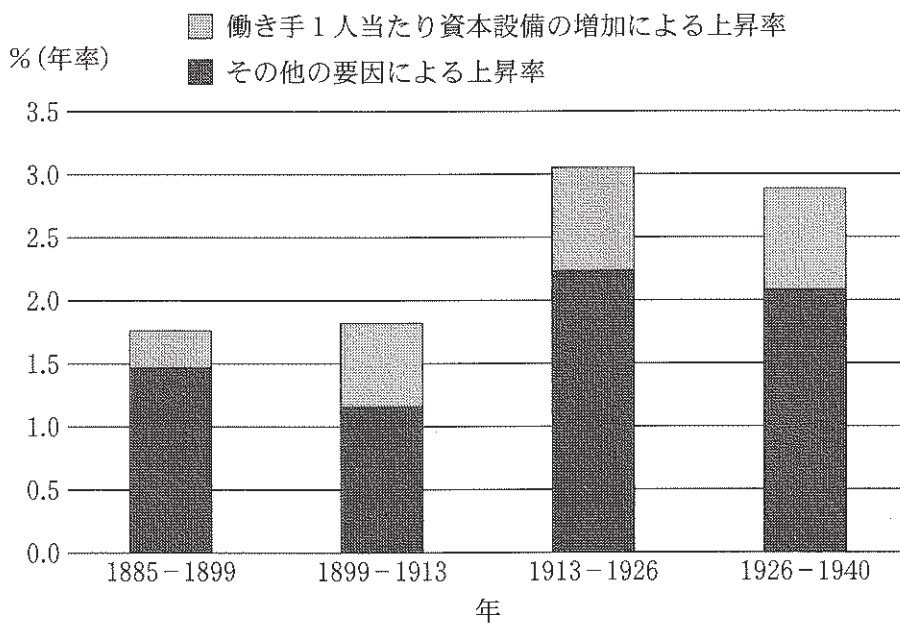
草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 4 問

労働生産性は、働き手 1 人が一定の時間に生み出す付加価値額(生産額から原材料費や燃料費を差し引いた額)によって計られる。その上昇は、機械など、働き手 1 人当たり資本設備の増加による部分と、その他の要因による部分とに分けられる。後者の要因には、教育による労働の質の向上、技術の進歩、財産権を保護する法などの制度が含まれる。労働生産性に関わる以下の図と史料を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は、解答用紙(二)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

図 労働生産性上昇率の推移 1885～1940 年(年率)



(深尾京司他『岩波講座 日本経済の歴史』より)

史料

専ら勤むべきは人間普通日用に近き実学なり。譬えば、いろは四十七文字を習い、手紙の文言、帳合の仕方、算盤の稽古、天秤の取扱い等を心得、なおまた進んで学ぶべき箇条は甚だ多し。(中略)一科一学も実事を押え、その事に就きその物に従い、近く物事の道理を求めて今日の用を達すべきなり。上記は人間普通の実学にて、人たる者は貴賤上下の区別なく皆悉くたしなむべき心得なれば、この心得ありて後に土農工商各々その分を尽し銘々の家業を営み、身も独立し家も独立し天下国家も独立すべきなり。

(福沢諭吉『学問のすゝめ』初編, 1872年, 表現を一部改変)

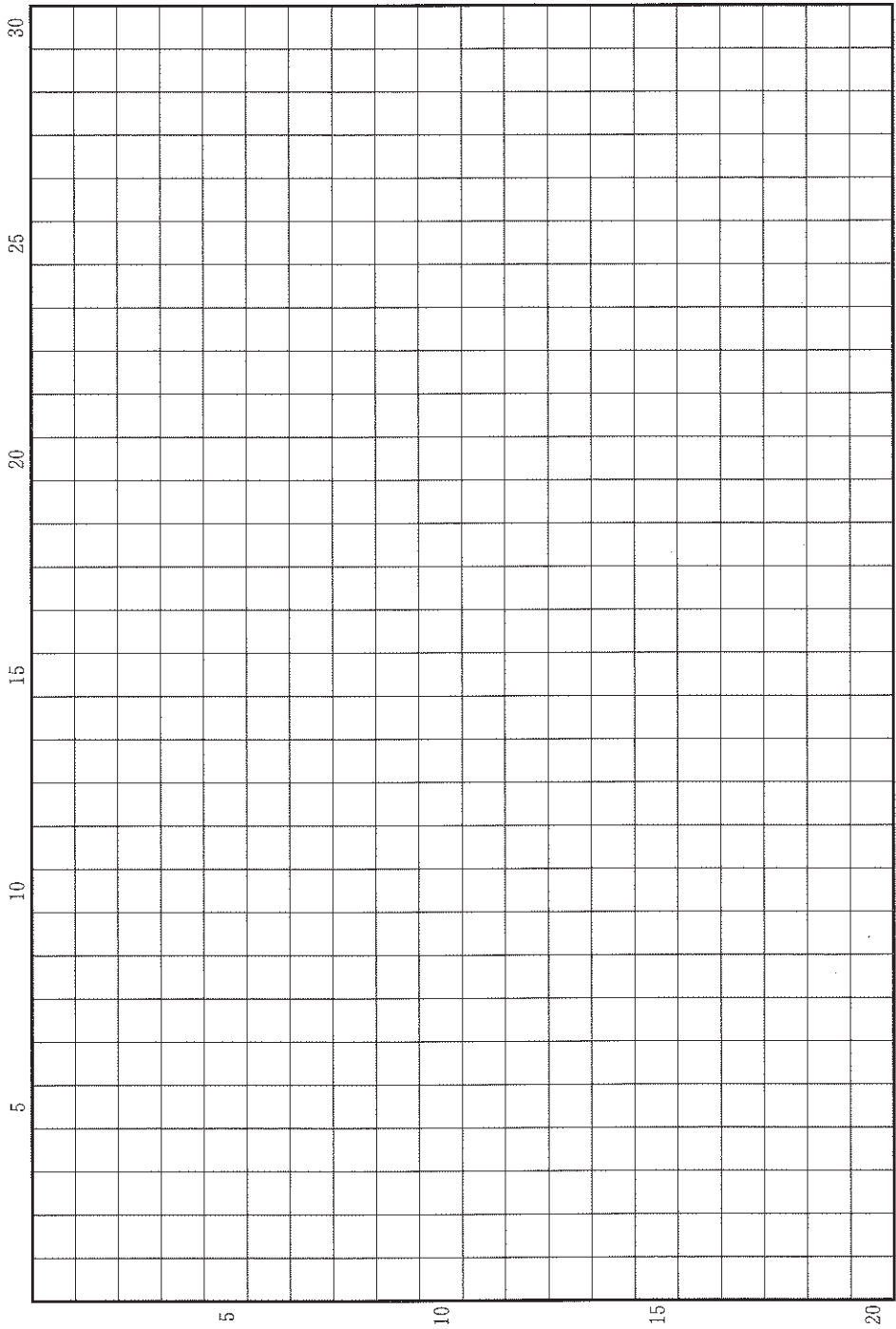
国民たる者は一人にて二人前の役目を勤むるが如し。即ちその一の役目は、自分の名代として政府を立て一國中の悪人を取押えて善人を保護することなり。その二の役目は、固く政府の約束を守りその法に従って保護を受くることなり。

(福沢諭吉『学問のすゝめ』六編, 1874年, 表現を一部改変)

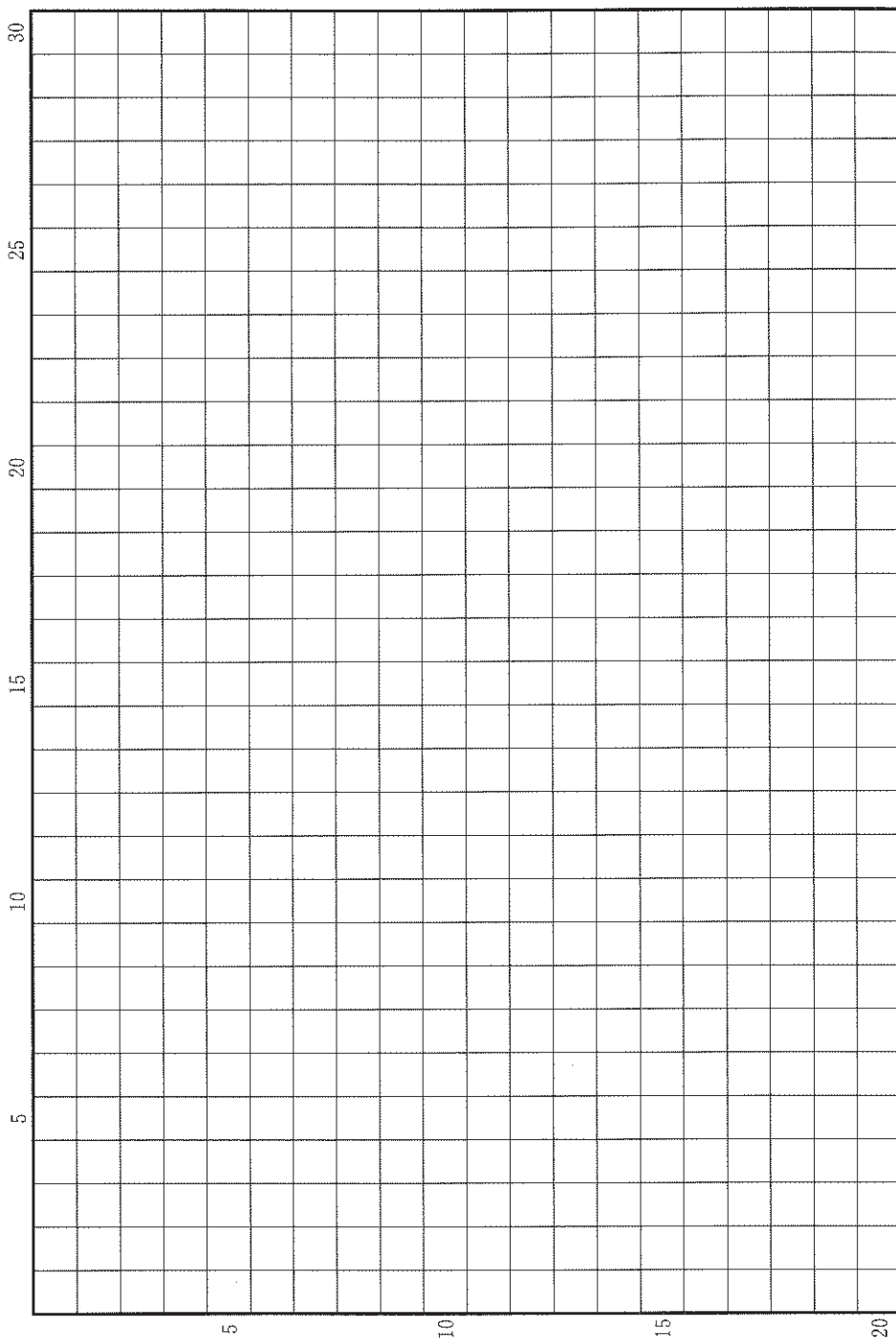
設問

- A 1880年代半ばから1890年代における労働生産性の上昇をもたらした要因は何か。具体的に3行以内で述べよ。
- B 第一次世界大戦期以後において、労働生産性の上昇はさらに加速しているが、その要因は何か。具体的に3行以内で述べよ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



世界史

第 1 問

内陸アジアに位置するパミール高原の東西に広がる乾燥地帯と、そこに点在するオアシス都市は、ユーラシア大陸の交易ネットワークの中心として、様々な文化が交錯する場であった。この地は、トルコ化が進むなかで、ペルシア語で「トルコ人の地域」を意味するトルキスタンの名で呼ばれるようになった。トルキスタンの支配をめぐり、その周辺の地域に興った勢力がたびたび進出してきたが、その一方で、トルキスタンに勃興した勢力が、周辺の地域に影響を及ぼすこともあった。

以上のことを踏まえて、8世紀から19世紀までの時期におけるトルキスタンの歴史的展開について記述せよ。解答は解答欄(イ)に20行以内で記し、次の8つの語句をそれぞれ必ず一度は用い、その語句に下線を引くこと。

アンカラの戦い

カラハン朝

乾隆帝

宋

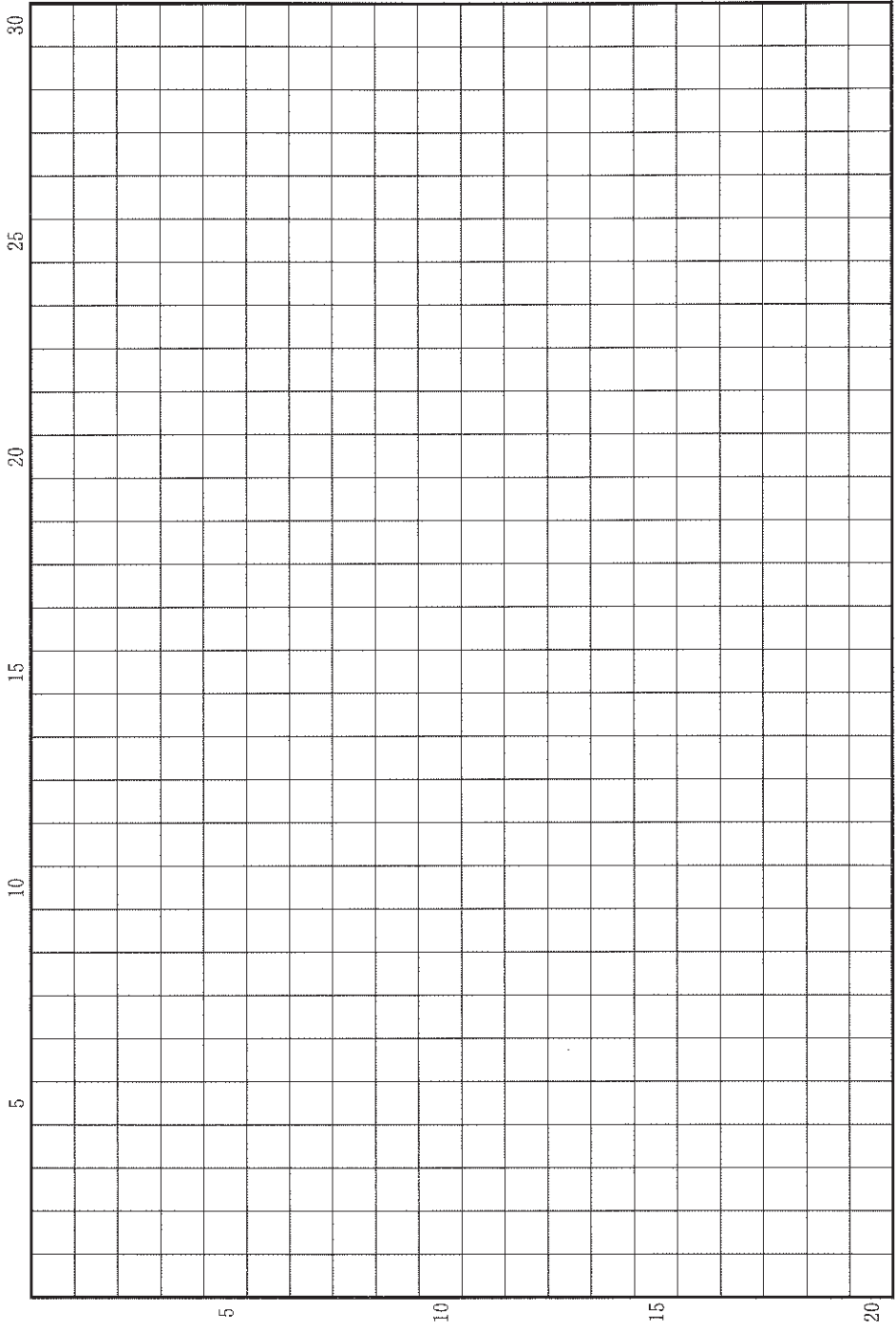
トルコ＝イスラーム文化

バーブル

ブハラ・ヒヴァ両ハン国

ホラズム朝

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

支配や統治には、法や制度が不可欠である。それらは、基盤となる理念や思想と、それを具体化する運動を通じてつくられることが多い。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(1) イスラーム教が支配宗教となった地域や国家では、民族や出自にかかわらず、宗教を第一とする統治体制が敷かれることが多かった。そこでは、啓典『クルアーン(コーラン)』と預言者ムハンマドの言行がもとになったイスラーム法が重視された。このことに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えよ。

(a) 最古の成文法の一つであるハンムラビ法典は、イスラーム法にも影響を与えたとされる。この法典が制定された時期と、その内容の特徴を、2行以内で説明せよ。

(b) 14世紀に北アフリカの諸王朝に仕え、『世界史序説(歴史序説)』を著して王朝の興亡の法則性を説いた学者の名前を記せ。

(c) 1979年のイラン革命では、イスラーム法に通じた宗教指導者(法学者)ホメイニらが中心となり、それまでのイランで推進されていた政策を批判した。このとき批判された政策について、2行以内で説明せよ。

問(2) 中世から近世にかけてのヨーロッパでは、多くの国が君主を頂点とする統治体制のもとにあった。君主の権力に関しては、それを強化することで体制を安定させようとする試みや、それが恣意的にならないよう抑制する試みがみられた。このことに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

(a) 大憲章(マグナ=カルタ)が作成された経緯を、課税をめぐる事柄を中心に、4行以内で説明せよ。

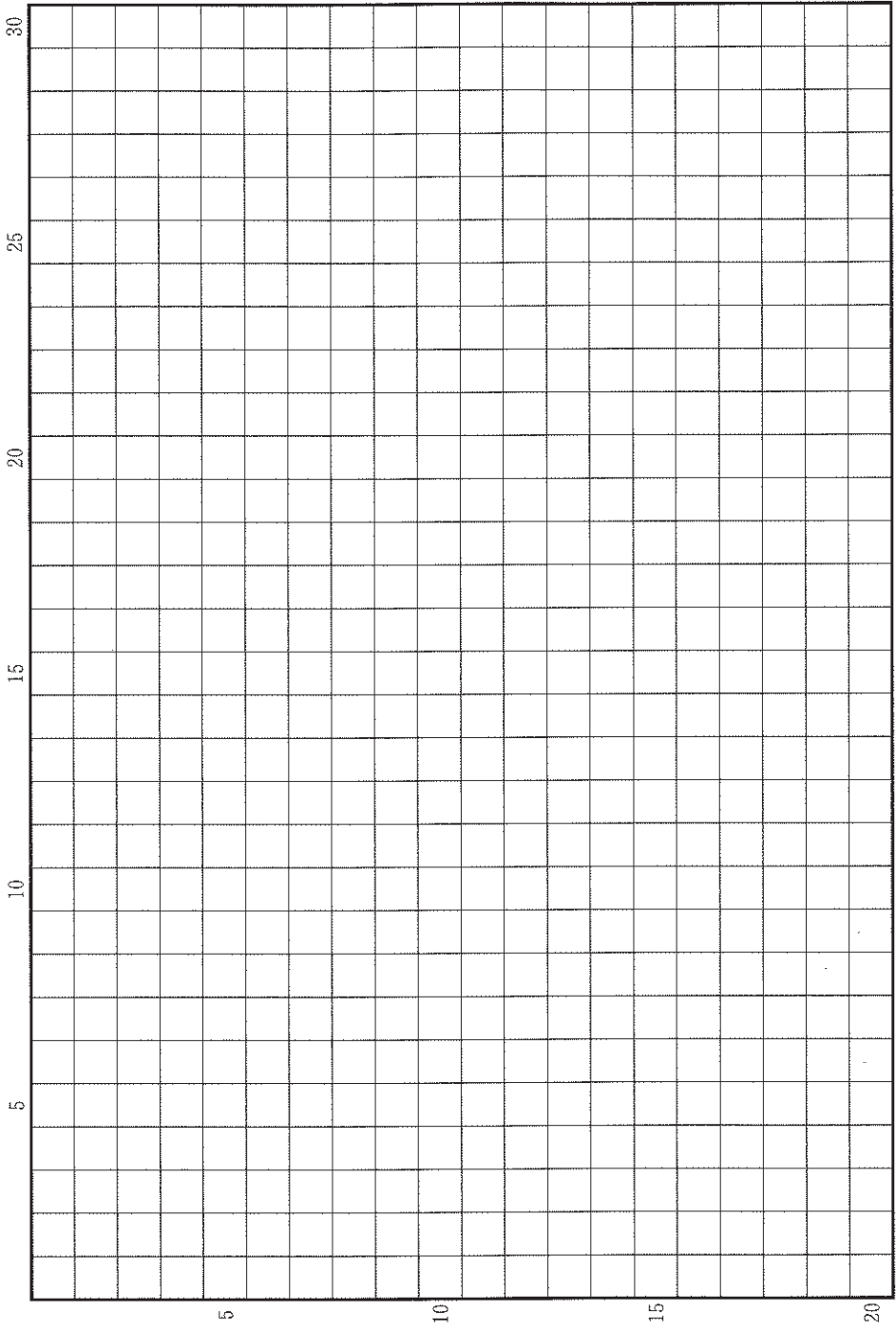
(b) マキアヴェリが『君主論』で述べた主張について、2行以内で説明せよ。

問(3) 19世紀末の清では、日清戦争における敗北を契機に、国家の存亡をめぐる危機意識が高まった。この結果生じた運動について、以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

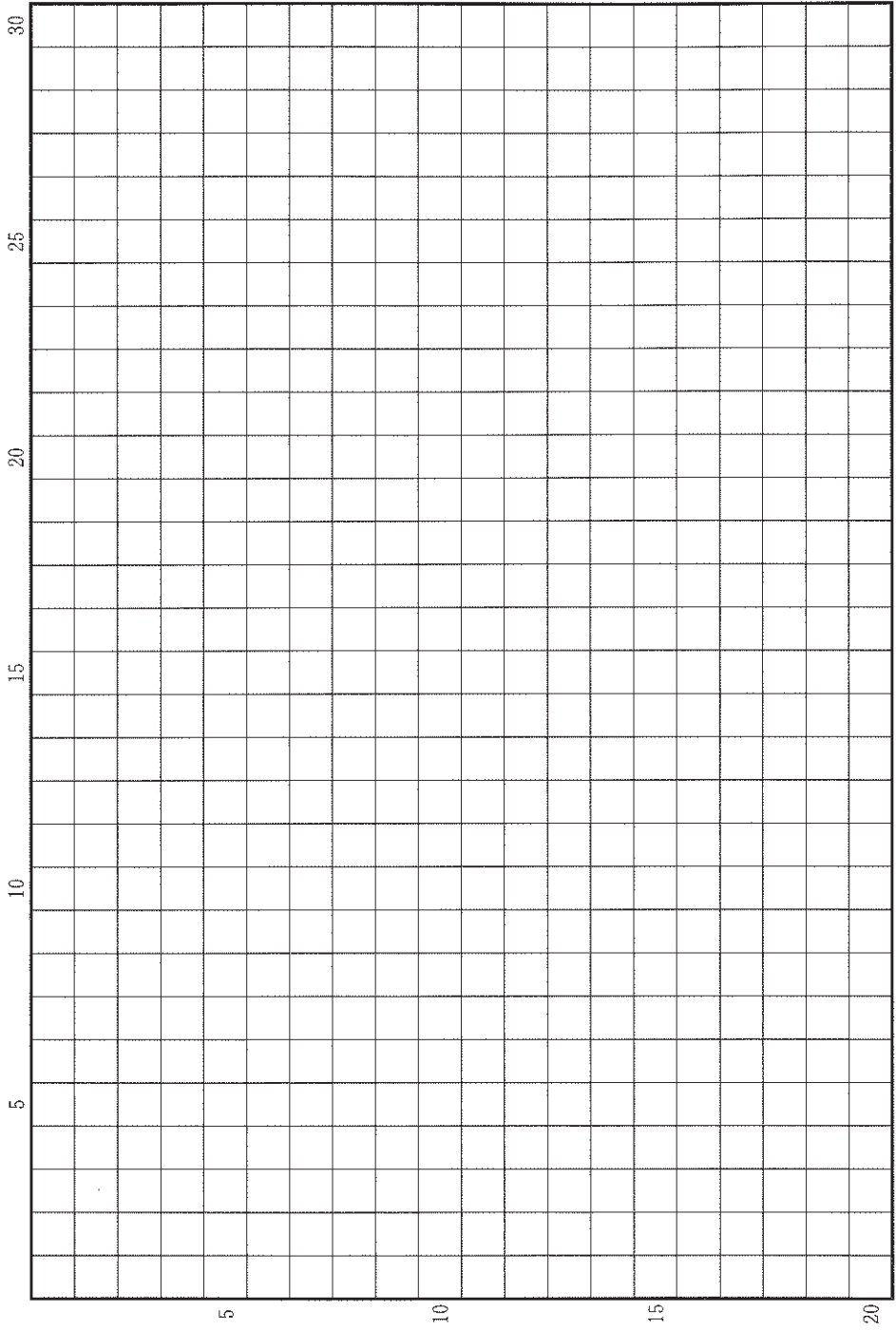
(a) この運動の中心となり、後に日本に亡命した2名の人物の名前を記せ。

(b) この運動の主張と経緯を4行以内で説明せよ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

戦争や軍事的な衝突は、国際秩序や権力のあり方を大きく変えただけでなく、人々の生活や意識にも多大な影響を与えてきた。このことに関連する以下の設問(1)~(10)に答えよ。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記せ。

問(1) イスラーム教成立以前のアラビア半島には、エチオピア高原を拠点とする王国が紅海を渡ってたびたび侵攻し、イエメン地方に影響力を及ぼしていた。4世紀にキリスト教を受容したこの王国の名称を記せ。

問(2) 1096年に遠征を開始した十字軍は、エルサレム王国などの十字軍国家を建設した。当初、イスラーム勢力の側は地方勢力の分立により、十字軍に対抗することができなかった。しかし、13世紀末になって十字軍の最後の拠点アッコン(アッコ、アッカー)が陥落し、十字軍勢力はシリア地方から駆逐された。このときアッコンを陥落させた王朝の名称を記せ。

問(3) 1511年にポルトガルはマラッカを占領した。マラッカは東南アジアの海上交易の一大中心拠点であったため、ムスリム商人たちは拠点をマラッカから移動させて対抗し、東南アジア各地の港に新たな交易中心地が発展することになった。こうして新たに発展した交易港のうち、スマトラ島北西部にあり、インド洋に面した港市の名前を記せ。

問(4) 16世紀、アメリカ大陸に進出したスペイン人征服者たちは、多数の先住民を殺害し、現地の社会を破壊した。また、彼らは征服地の農園や鉱山などで先住民に過酷な労働を強制した。スペイン人征服者のこのような行為を告発し、先住民の救済を訴えて『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著した人物の名前を記せ。

問(5) プロイセンは、ナポレオン軍に敗れて首都を制圧され、フランスとの過酷な内容の講和条約の締結を余儀なくされた。国家存亡の危機を目の当たりにして、連続講演「ドイツ国民に告ぐ」をおこない、国民意識の覚醒を訴えた哲学者の名前を記せ。

問(6) ヨーロッパ諸国も加わった多国間戦争のさなか、ナイティンゲールは38名の女性看護師とともにオスマン帝国に派遣され、その首都イスタンブルの対岸にある傷病兵のための病院で、看護体制の改革に尽力した。この戦争でオスマン帝国側に立って参戦した国のうち、サルデーニャ以外の2か国の名を記せ。

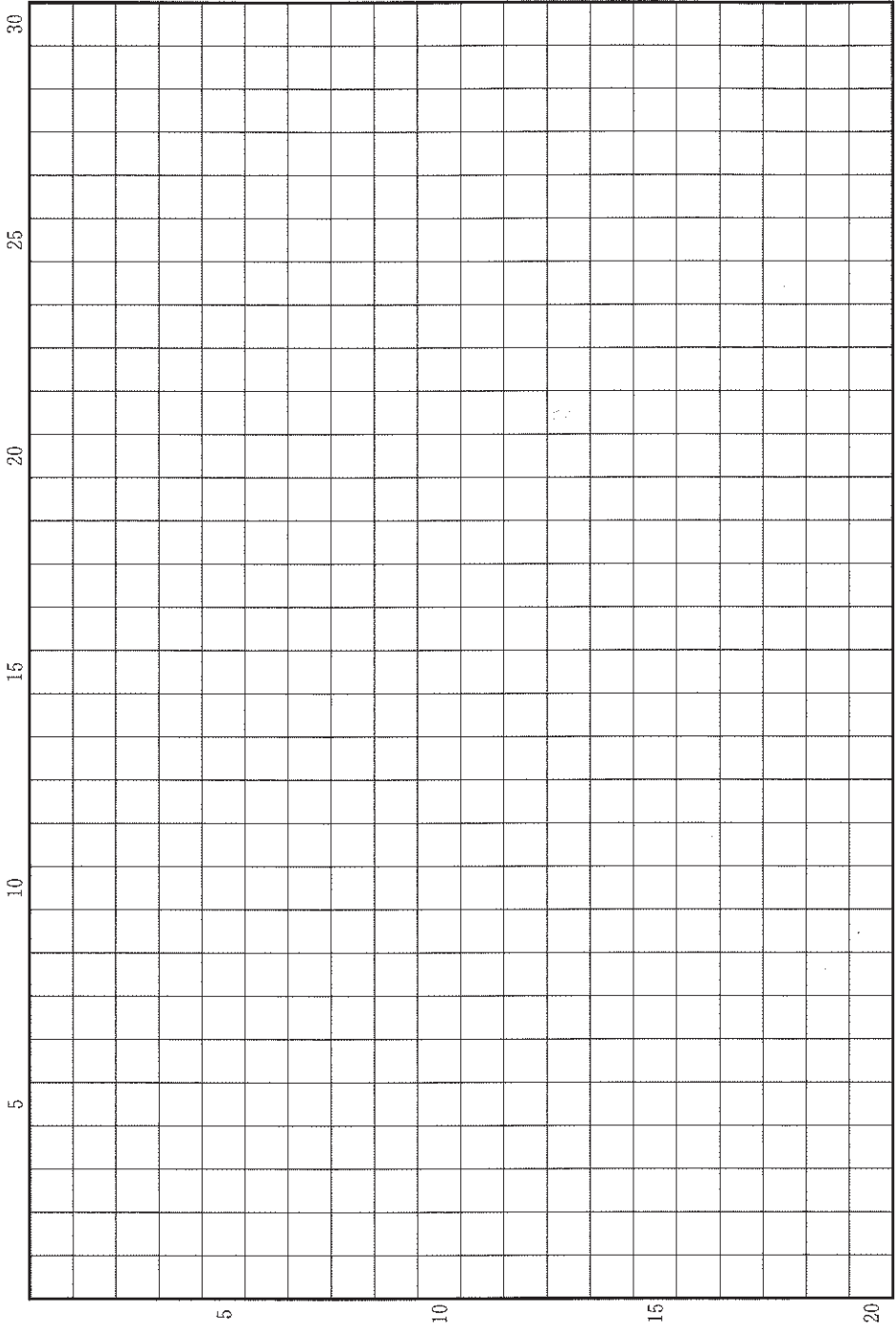
問(7) 南北戦争後のアメリカ合衆国では、北部を中心に工業発展がめざましく、西部も開拓によって農業が発展した。合衆国の東西を結んで人・物・情報の流れを促し、経済発展に大きく寄与した鉄道は何と呼ばれるか。その名称を記せ。

問(8) 第一次世界大戦に敗れたドイツでは、帝政が崩壊し、当時、世界で最も民主主義的といわれたヴァイマル憲法を擁する共和国が成立した。この憲法は、代議制民主主義の弱点を補うというねらいから、国民に直接立法の可能性を与え、同時に国民の直接選挙で選ばれる大統領に首相任免権や緊急措置権など大きな権限を与えていた。世界恐慌のさなか、1932年に大統領に再選され、翌年にヒトラーを首相に任命した人物の名前を記せ。

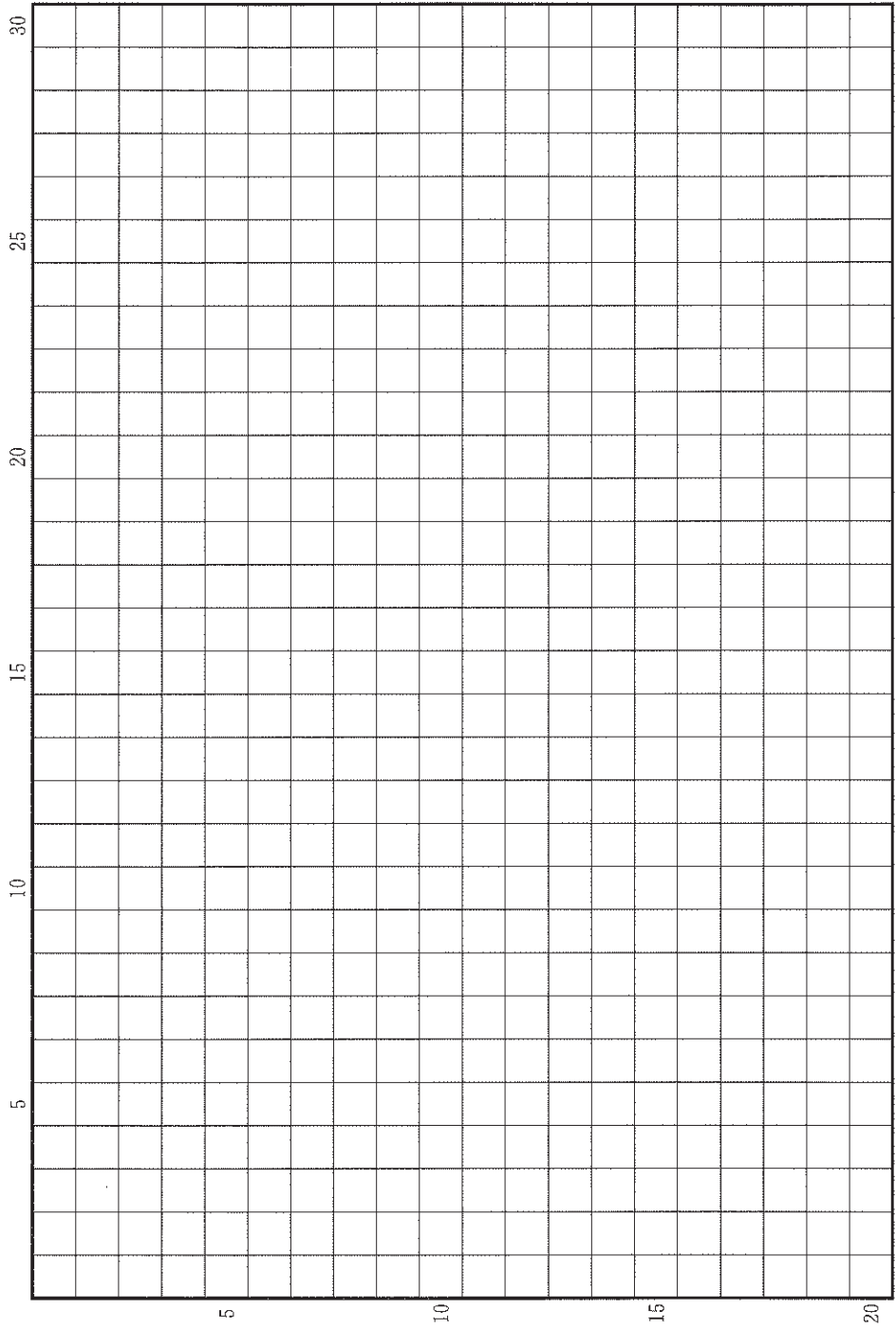
問(9) 1945年8月14日、日本はポツダム宣言を受諾して降伏した。翌15日には昭和天皇がラジオを通じてポツダム宣言受諾を国民に明らかにした。その日本の占領下にあったインドネシアでは、8月17日にインドネシア共和国の成立が宣言されたが、この宣言を読み上げ、インドネシア共和国の初代大統領となった人物の名前を記せ。

問(10) 第3次中東戦争の結果、イスラエルは占領地をさらに拡大させ、それによって多数の難民が新たに発生した。一方、占領地に残ったパレスチナ人住民のあいだで、1987年末から投石などによるイスラエルに対する抵抗運動が始まった。この抵抗運動の名称をカタカナで記せ。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



地 理

第 1 問

世界規模の事象の分布や変化に関する以下の設問A～Bに答えよ。解答は、解答用紙の(イ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

設問A

人獣共通感染症とは、人とそれ以外の動物の両方に感染または寄生する病原体により生じる感染症である。人獣共通感染症の発生件数は、1980年代から2000年代にかけて4倍に増加しており、その背景には、a)動物性タンパクの需要増大と畜産の拡大、b)人と野生動物との接触機会の増加、c)土地利用形態の変化、d)地球温暖化、などが要因として挙げられている。

これらの要因の関係をモデル化し、野生動物に由来する人獣共通感染症の発生リスクを示したのが図1—1である。分析が行われた2017年時点で、野生動物に由来する人獣共通感染症が発生しやすい地域が可視化されている。

- (1) 人獣共通感染症の増加の要因のうち、上記のa)～d)以外の社会経済的要因を1つ答えよ。

- (2) d)の地球温暖化がどのように人獣共通感染症の増加に影響するか、以下の語句をすべて用いて、2行以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

媒介生物 気象災害

(3) 図1—1で南アジア・東南アジアから東アジアにかけての地域が高リスク地域となっている。この理由を、この地域の自然環境と生業の観点から3行以内で説明せよ。

(4) 日本も野生動物に由来する人獣共通感染症の発生リスクが高いことが図1—1から読みとれる。また、日本では近年発生リスクがさらに高まりつつあると考えられているが、その主要な原因を、前記のb)人と野生動物との接触機会の増加、c)土地利用形態の変化、と関連づけて2行以内で説明せよ。

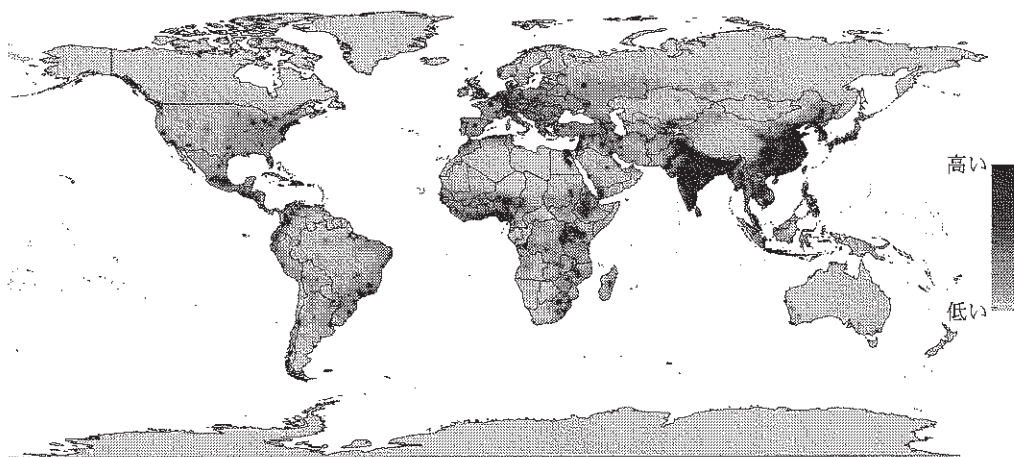


図1—1

Allen ほか, 2017 による。

設問B

図1—2は1784～1863年の80年間における船の航路を、図1—3は1980～1997年の18年間における船の航路を示した地図である。二つの図は、船上での定期的な気象観測の記録や航海日誌などに記載された船の位置を、線でつないだものである。海岸線などの他の情報は描かれていないが、多くの場所で大陸の概形を読みとれる。

- (1) 図1—2では、赤道付近と中緯度において水平な帯のように見える航路の集まりが見られる。これは、ほぼ特定の緯度に沿って船が移動する傾向があったことを示す。この理由を、当時の船の構造も考慮して2行以内で述べよ。
- (2) 図1—2は図1—3よりも対象とする期間が長いにも関わらず、航路の密度が低く、19世紀以前の水運は近年よりも規模がかなり小さかったことを示す。ただし、図1—2の時期にはかなり活発であったが図1—3の時期にはすたれた水運の経路も読みとれる。すたれた経路の例を挙げ、その理由とともに2行以内で述べよ。
- (3) 図1—2と図1—3の比較から、水運の分布の拡大や、水運の経済性を高めるために行われてきた技術的な進歩を読みとることができる。その内容を、以下の語句をすべて用いて3行以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

高緯度 等角航路

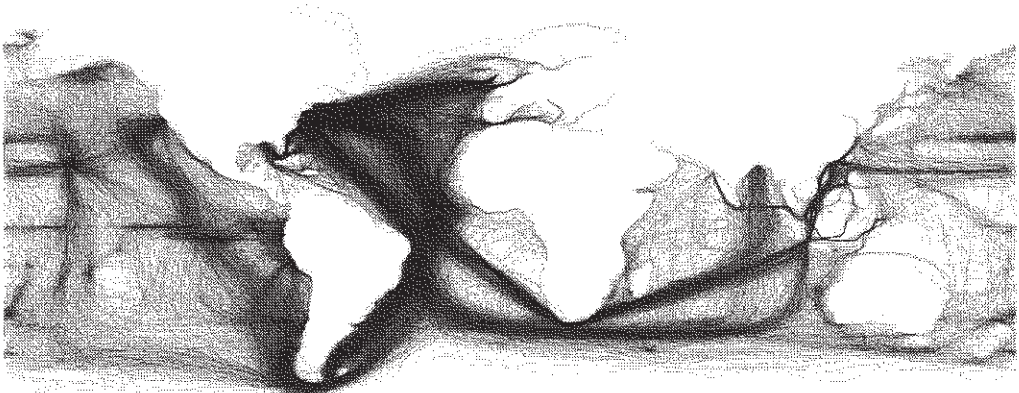


図1—2

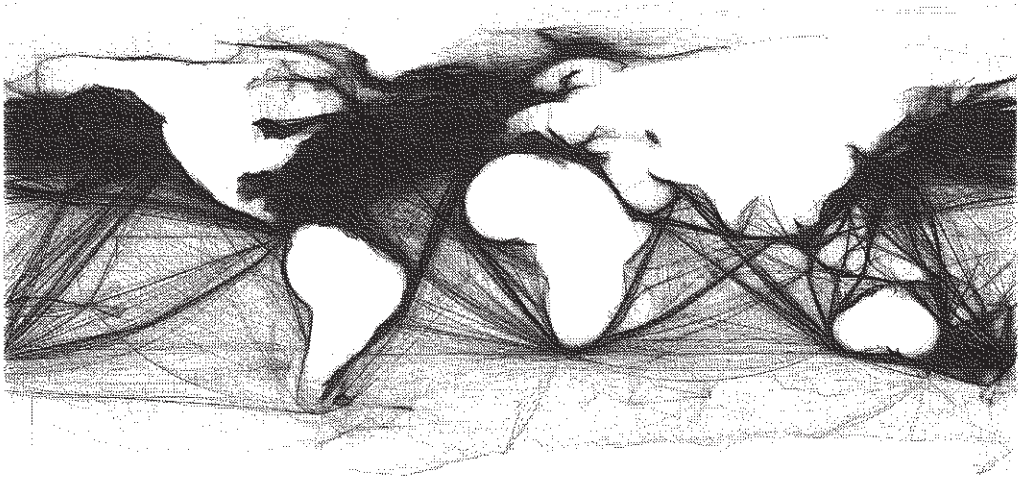
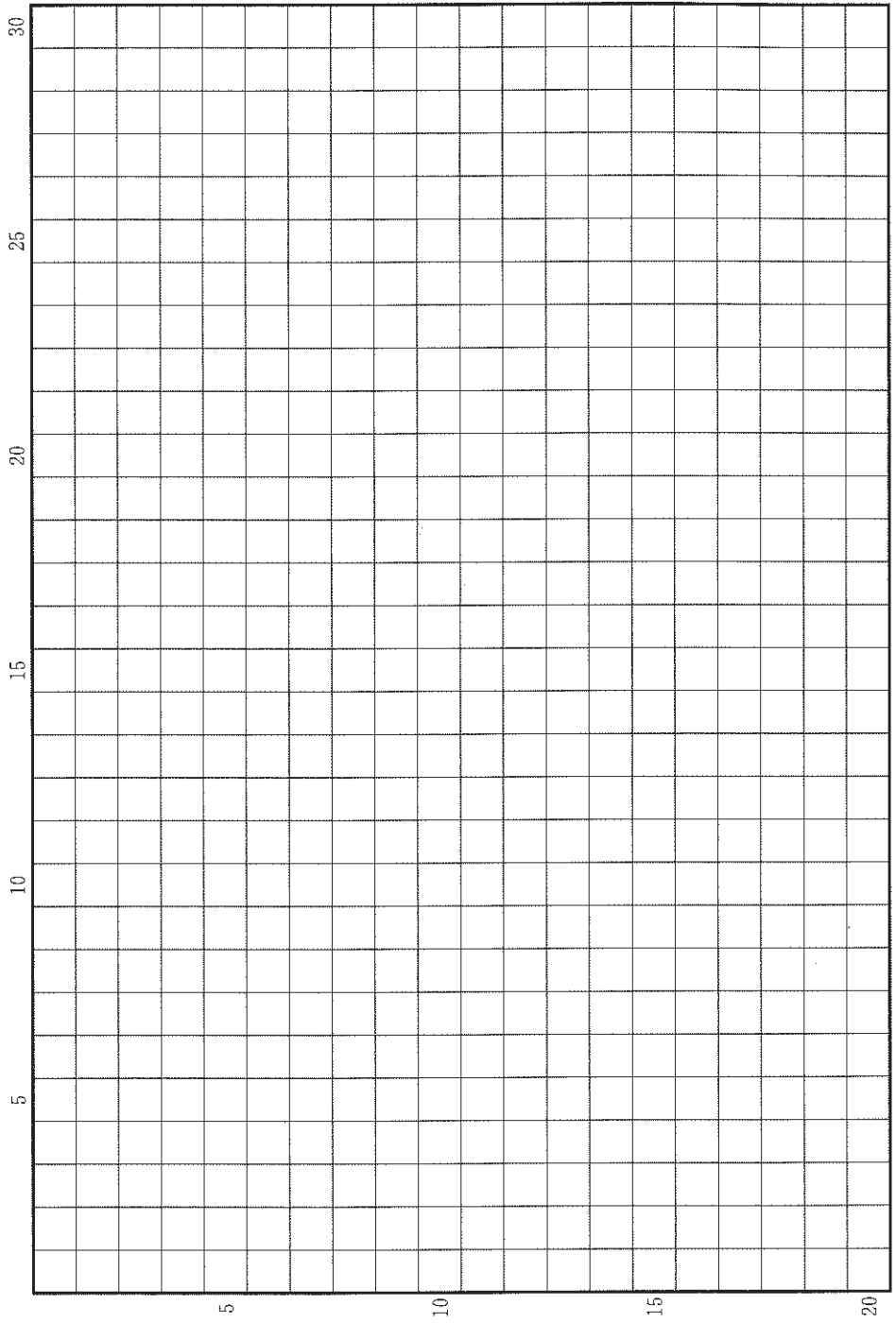


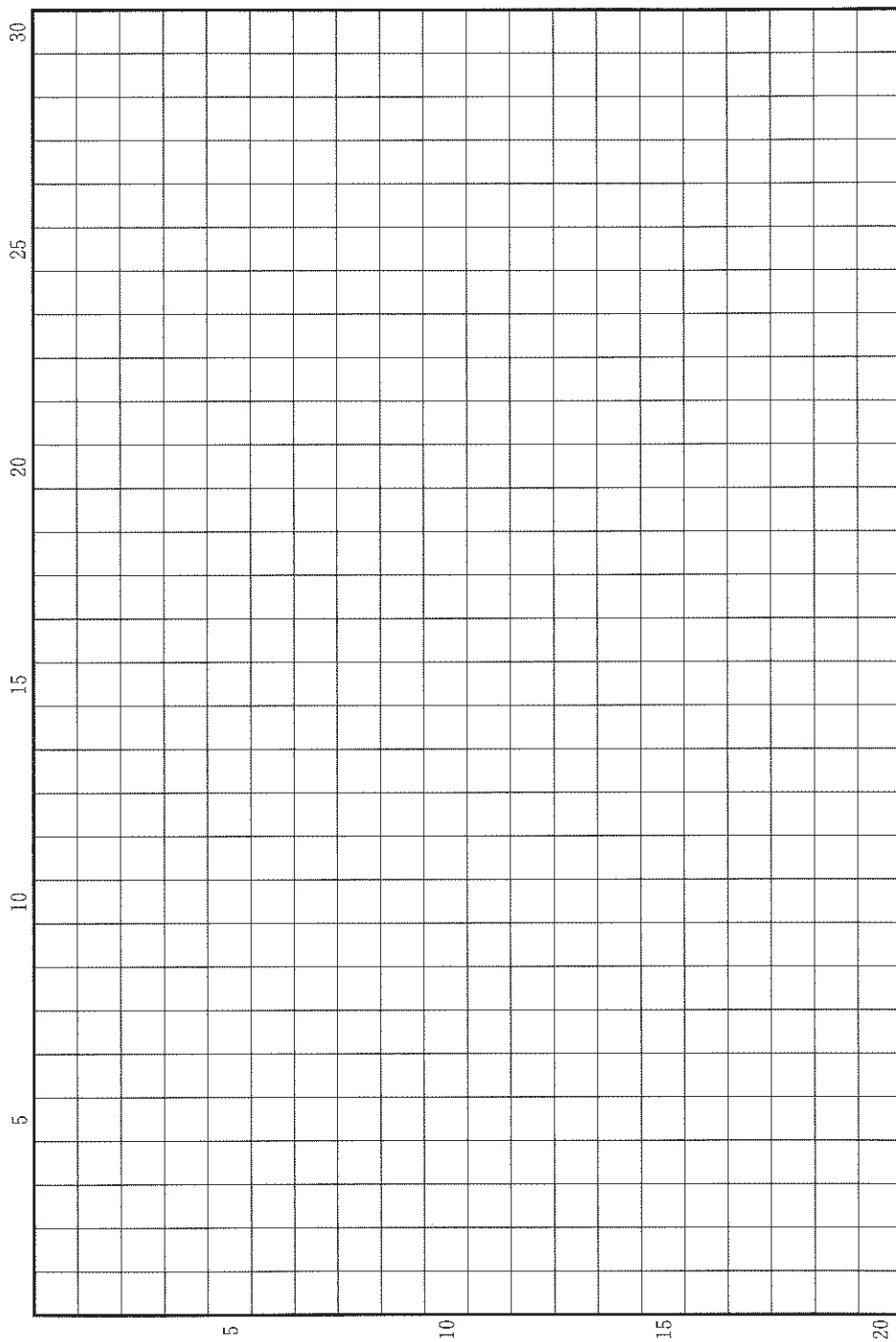
図1—3

図1—2と図1—3は、どちらもアメリカ海洋大気庁のデータを用いて Ben Schmidt 氏が作成した地図による。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

南北アメリカの経済と社会に関する以下の設問 A～B に答えよ。解答は、解答用紙の(ロ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

設問 A

図 2—1 は、アメリカ合衆国(アラスカ・ハワイ両州を除く)の州別の人口変化率(1970～2010 年)を示したものであり、表 2—1 は、4 つの州の人口構成をまとめたものである。以下の問いに答えよ。

- (1) 1970～1990 年と 1990～2010 年に分けて人口変化率を見ると、ア州では 49.1 % から 25.2 % へと増加率が半減しているのに対し、隣接するイ州では 107.0 %、74.4 % と増加率は高い水準を維持している。両州でこのような違いが生じた理由を 2 行以内で述べよ。
- (2) ウ州とエ州は共に 75 歳以上人口比率が高いが、その背景は大きく異なる。それぞれの州で 75 歳以上人口比率が高くなる理由を、両州の違いが分かるように 2 行以内で述べよ。
- (3) 中西部に位置する多くの州では人口増加率が低い。これらの州の中心都市では、基幹産業の斜陽化、およびそれが引き起こした社会問題によって人口減少に拍車がかかっている。こうした社会問題として考えられることを 2 つ、合わせて 1 行で述べよ。
- (4) エ州は、中南米諸国と国境が接していないにもかかわらず、ヒスパニック系人口の比率が高い。このような状況をもたらした政治的理由を 1 行で述べよ。

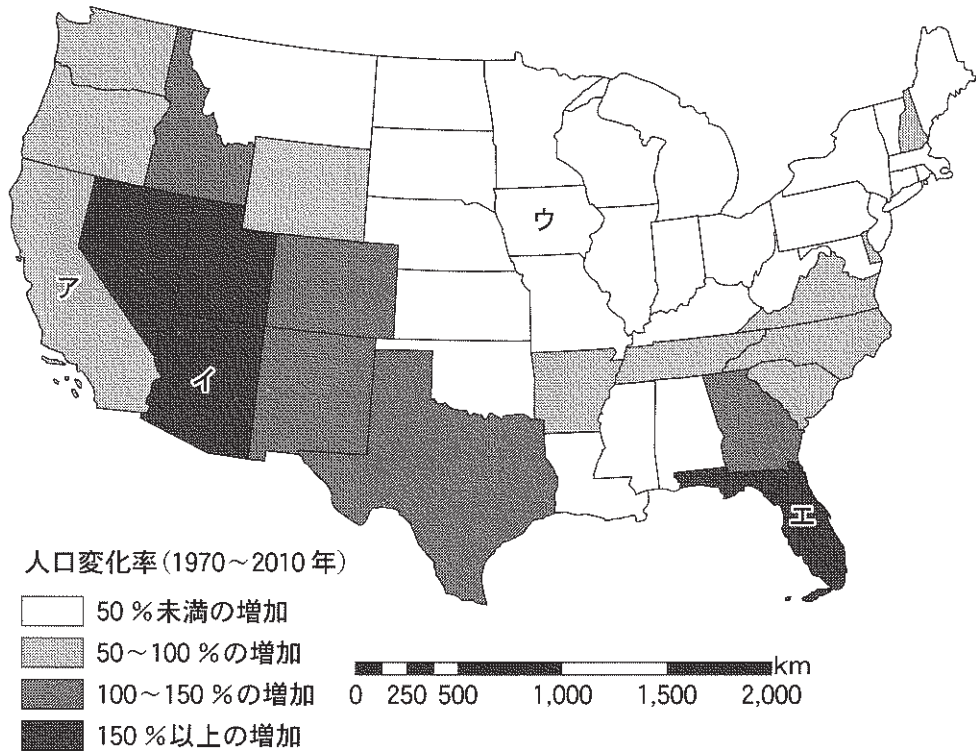


図 2—1

アメリカ・センサス局による。

表 2—1

(2010年)

州名	ヒスパニック系 人口比率(%)	75歳以上 人口比率(%)
ア	37.6	5.3
イ	26.5	4.7
ウ	5.0	7.5
エ	22.5	8.1

アメリカ・センサス局による。

設問B

広大な国土と大人口を有するブラジルは、経済開発の状況に大きな地域的差異を伴いながら、国家としての経済発展を遂げてきた。こうした地域的な差異は、図2-2に示すように、ブラジルを構成する各州を北部、北東部、南東部、南部、中西部の5つの地域に分けてその特徴や課題が把握されることが多い。表2-2は、ブラジルのGDPと人口をこの5地域に分割し、関連する指標とともにまとめたものである。

(1) 表2-2のア、イ、ウに該当する地域名を、北部、北東部、南部の3つの地域の中から選んでア-○のように答えよ。

(2) 表2-2ではGDPのシェアが上位の地域から並べられているが、2002年を100としたときの2018年のGDPの値をみると順位が逆になる。とくにその値が大きい中西部やウ地域において、この間にどのような経済開発・経済発展がみられたか、これらの地域の自然環境にもふれながら、以下の語句をすべて用いて3行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

ブラジル高原 農地 自由貿易地区

(3) 表2-2からは、ブラジルの深刻な地域的な経済格差が読みとれる。南東部とイ地域の間にはどのような経済格差が読みとれるか、その背景と合わせて2行以内で述べよ。

(4) 南東部には、人口でブラジル第1位の都市サンパウロ、第2位のリオデジャネイロが存在する。これらの巨大都市が抱える問題のうち、国内の地域的な経済格差を背景に持つ問題を、それとの関係が明らかになるように、以下の語句をすべて用いて2行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

低所得層 インフォーマルセクター



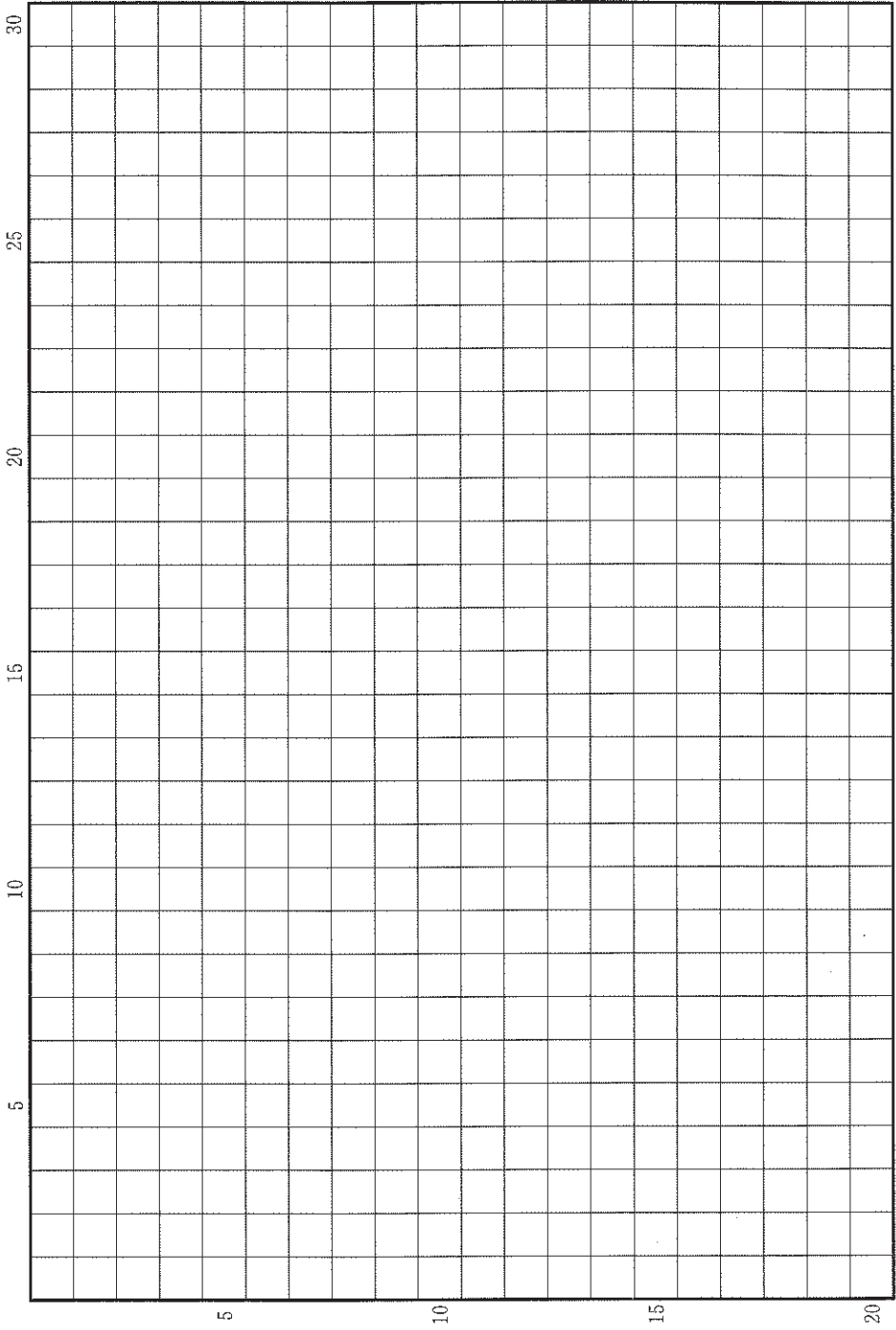
図 2—2

表 2—2

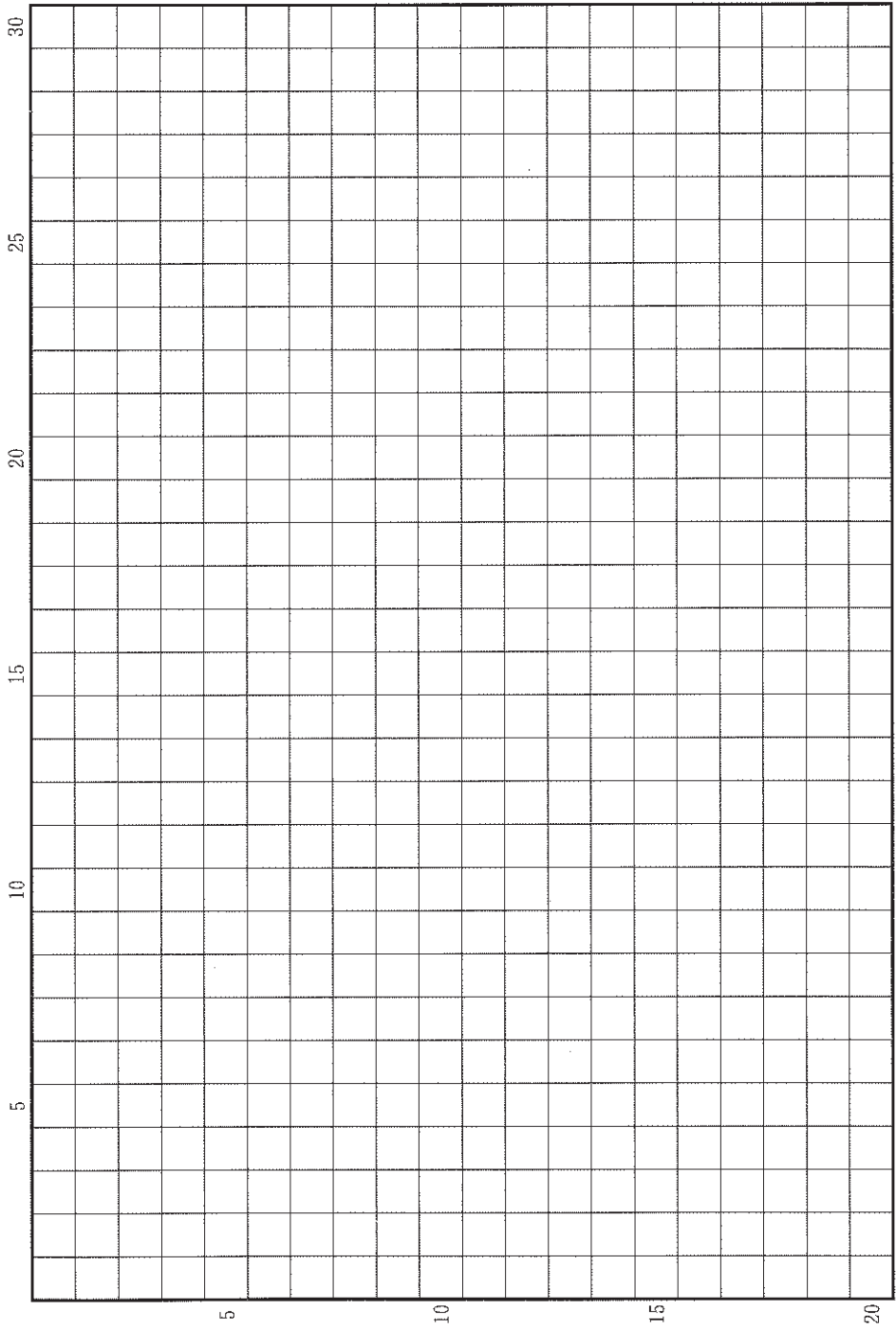
地 域	GDP 2018 年 (100 万リアル)	GDP シェア 2018 年 (%)	GDP 2018 年 (2002 年 =100)	人口 2018 年	GDP/人口 2018 年 (リアル)
南東部	3,721,317	53.1	138	87,711,946	42,427
ア	1,195,550	17.1	140	29,754,036	40,181
イ	1,004,827	14.3	152	56,760,780	17,703
中西部	694,911	9.9	173	16,085,885	43,200
ウ	387,535	5.5	178	18,182,253	21,314
全国	7,004,141	100.0	145	208,494,900	33,594

人口は 2018 年推計値。リアルはブラジルの通貨単位。
ブラジル地理統計院による。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

日本の都市と農業に関する以下の設問 A～B に答えよ。解答は、解答用紙の(ハ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

設問 A

図 3—1 と図 3—2 は、東京都心から北東方向約 30 km に位置する X 市の北部を中心に、異なる時点の国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図をもとに作図したものである。図 3—1 によると、台地の部分で、1960 年代から大規模な土地改変が行われる一方で、従来からの地形と土地利用との対応関係も読みとれる。⁽¹⁾

X 市では、第 2 次世界大戦前に飛行場や軍需工場などが置かれていたが、それらの土地が戦後、アメリカ軍に接収され、その通信施設となっていた。図 3—2 では、米軍通信施設跡地が、大きな公園や総合競技場、住宅団地、大学の新キャンパスに変わっていることがわかる。

図 3—1 と図 3—2 を比べると、交通体系が大きく変わってきたことがわかる。図 3—2 では、高速道路がみられるが、⁽²⁾高速道路のインターチェンジ付近を詳しくみると、工業団地の敷地内も含め、新たな施設が建設されてきている。

鉄道の新線が開通し、新たに駅が設けられたことも大きな変化で、⁽³⁾X 市では、図 3—1 の大規模改変とは異なる新しい空間が出現し、これまでの X 市の産業構造を変えるような動きや「スマートシティ」をめざす新たな街づくりが進められてきている。

- (1) 下線部(1)に関して、図 3—1 から読みとれる地形と土地利用との対応関係を、1 行で述べよ。
- (2) 下線部(2)に関して、どのような施設が建設されてきているか、そうした変化の理由とともに、2 行以内で述べよ。

(3) 図3-3は、2010年、2015年、2020年におけるX市内のA地区、B地区、C地区の年齢階層別人口構成の変化を示したものである。A地区、B地区、C地区は、図3-2に太枠で示した地区①、②、③のいずれに該当するか、A-Oのように答えよ。

(4) 下線部(3)に関して、こうした新たな動きの特徴として考えられることを、以下の語句をすべて用いて、3行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

情報通信技術 新規創業 高齢化社会

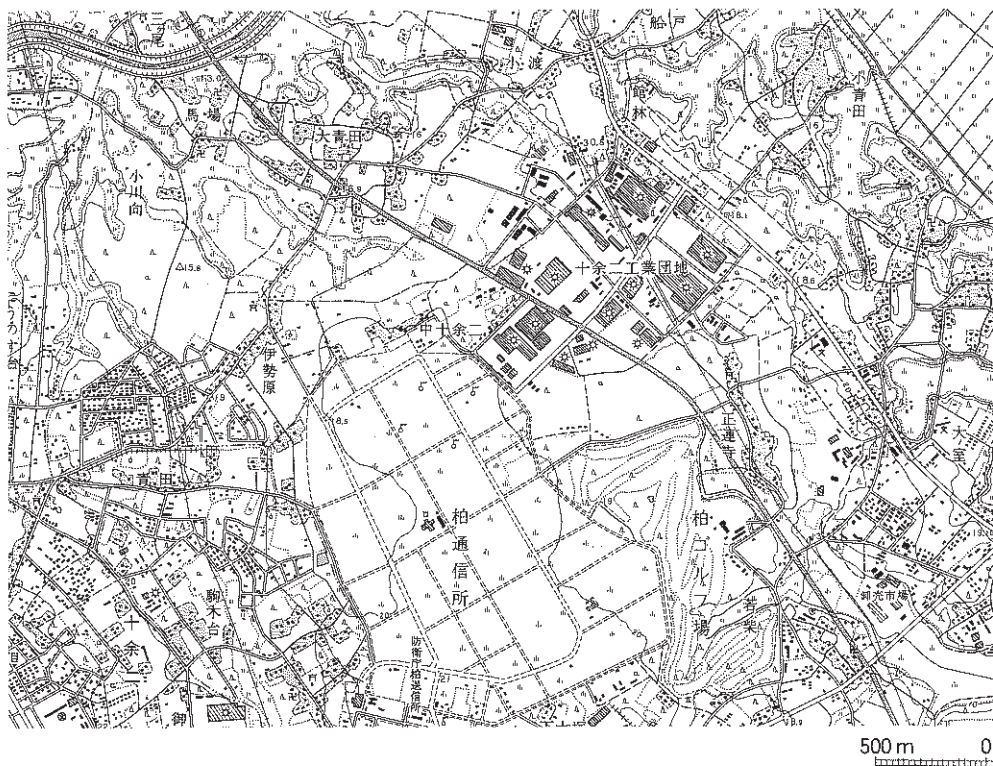


図3-1

1975年発行の2万5千分の1地形図をもとに作図。



図 3—2

2019 年発行の 2 万 5 千分の 1 地形図をもとに作図。

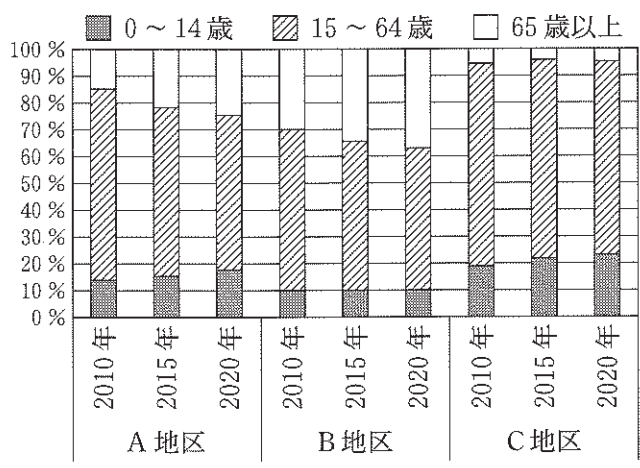


図 3—3

X 市の統計書による。

設問B

日本の果樹生産は、様々な社会経済的事象に影響を受け、戦後から現在にかけて変化してきた。表3—1は、果樹5種の2018年の都道府県別収穫量を、上位5都道府県に絞り示している。また、図3—4はみかんとりんごの1960年から2018年までの作付面積の推移を表す。図3—5と図3—6は、みかんとりんごそれぞれについて1990年から2018年までの輸出量と輸出先を示している。

- (1) 表3—1のア～ウに該当する県名を、それぞれ、ア—○のように答えよ。
- (2) 表3—1によれば、ブルーベリーの収穫量第1位は東京都である。東京都でブルーベリーの栽培が盛んな理由を1行で説明せよ。
- (3) 図3—4をみると、みかん、りんごともに現在の作付面積は1960年比で減少しているが、その推移は両者で異なっていることが読みとれる。みかんの作付面積が一旦大きく増加しその後減少した理由を、以下の語句をすべて使用し、3行以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

政 策 需 要 生産調整

- (4) 図3—5と図3—6の輸出量をみると、みかんについては減少傾向である一方、りんごは増加傾向にある。りんごの輸出量が増加している理由として図3—6から考えられることを、2行以内で説明せよ。

表3—1

順位	みかん		りんご		なし	
	1	ア	155,600	青森	445,500	ウ
2	静岡	114,500	イ	142,200	茨城	23,800
3	愛媛	113,500	岩手	47,300	栃木	20,400
4	熊本	90,400	山形	41,300	福島	17,100
5	長崎	49,700	福島	25,700	鳥取	15,900

順位	うめ		ブルーベリー	
	1	ア	73,200	東京
2	群馬	5,740	群馬	271
3	三重	2,090	イ	259
4	神奈川	1,810	茨城	240
5	イ	1,770	ウ	105

単位：トン

果樹生産出荷統計(みかん, りんご, なし, うめ)および特産果樹生産動態等調査(ブルーベリー)による。

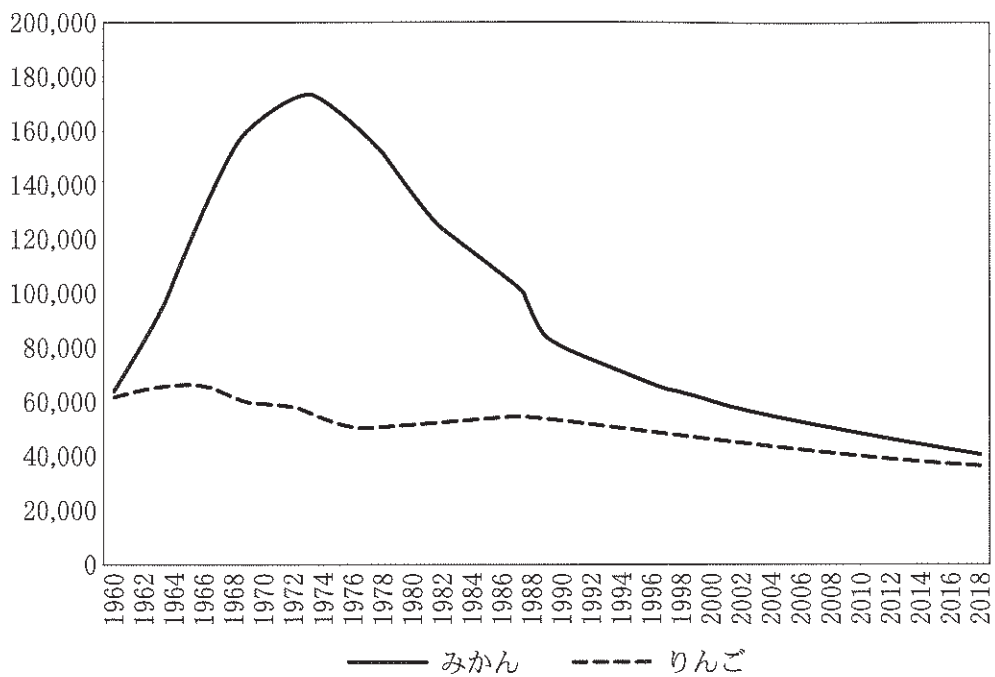


図 3—4

単位：ヘクタール

耕地及び作付け面積統計による。

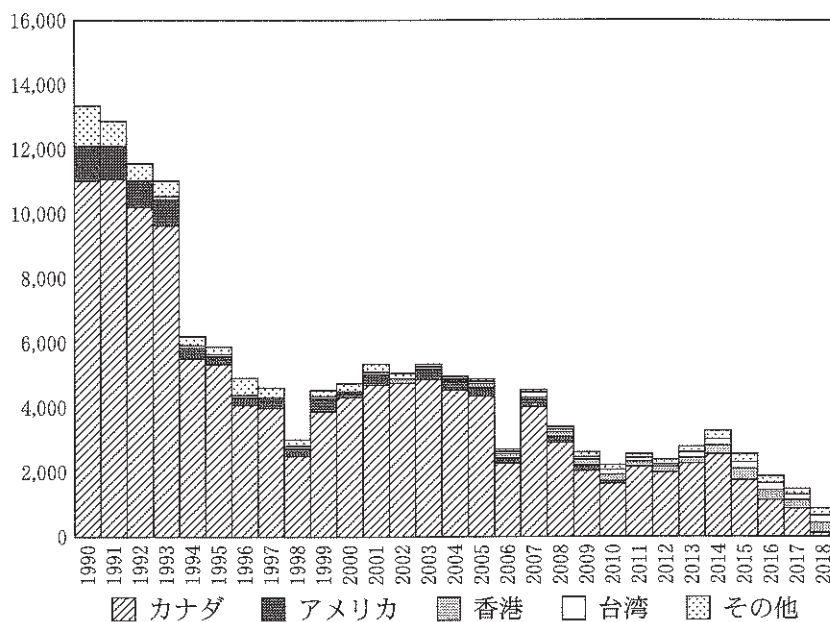


図 3—5

単位：トン

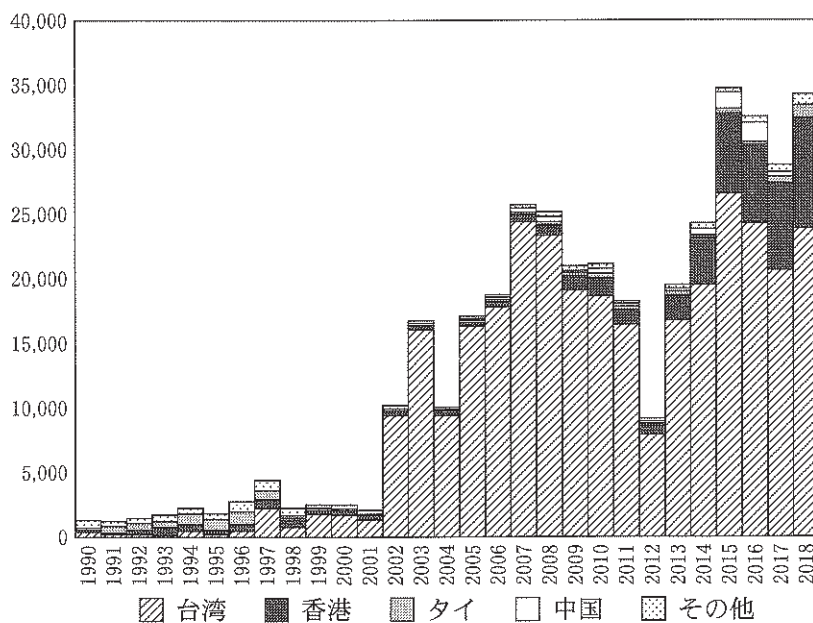


図 3—6

単位：トン

図 3—5， 図 3—6 は， どちらも貿易統計による。(川久保 2019 を改変。)